

# 「大川の駅」ニュース

「大川の駅」でつながる  
ひと・まち・ものづくり

令和6年4月10日発行

## 「賑わい」と「稼ぐ力」を将来世代へ

1次造成工事用の仮設搬入路ができました。



工事中の様子 令和6年3月撮影

### 「にぎわい」と「稼ぐ力」を

有明海沿岸道路、九州佐賀国際空港などの重要インフラの整備が進む環有明海地域において、国内外からの**集客の拠点**として「大川の駅」を整備し、たくさんの人を呼び込み、**市内各地への人の流れを生み出す**ことで、**市全体の経済活動を活発化**させ、活気が失われつつあるまちに「にぎわい」を創り、「稼ぐ力」を強化し、将来に希望が持てる地域を創ります。

### インテリアのまちのシンボル

「大川の駅」は、木インテリアのまち**大川のシンボル**となるべき施設であり、訪れた人に**木インテリアの魅力**が伝わるよう、内装、什器・備品などに大川が誇る家具、建具、クラフト等を使用した**質の高い空間**とします。

### 皆様に愛される施設に

市民の皆様に「大川の駅」に**様々な関わり**を持っていただき、**一緒に「大川の駅」事業を盛り上げて**いきたいと考えています。

例えば、

- ・大川の駅で使用するインテリア製品の納品
- ・生産・収穫したものを直売所に出荷
- ・加工品等を物産販売所に納品
- ・大屋根付き広場での屋台・キッチンカーの出店、イベント開催
- ・遊覧船に同乗しての観光ガイド
- ・広域情報発信・交流スペースでの工芸作品展など

「大川の駅」を使ってこんなことができないかと、想いをふくらませてください。

「大川の駅」は、皆様に愛される施設を目指します。



## 「大川の駅」の主な機能・施設及び事業費

機能名		施設または整備内容	施設規模	事業費	
道の駅	地域振興	飲食 産直・物販 木工クラフト 振興 環有明海魅力発信	レストラン、カフェ 直売所、物産販売所 クラフトショップ 屋内型キッズパーク 観光案内所兼インフォメーションセンター 広域情報発信・交流スペース（多目的スペース）	1,500㎡以上★ 1,000㎡以上★ 事業者提案 50㎡以上 100㎡以上  300㎡以上 （★バックヤード含む）	提案 上限額  41億8,500万円  ※の工事費は含まない
	眺望・アクセス		展望デッキ※	600㎡以上	
	アクティビティ	大屋根付き広場	大屋根付き広場	3,000㎡程度（うち屋根600㎡以上）	
		屋外活用エリア	屋外型キッズパーク サイクルステーション RVパーク ドッグラン	事業者提案	
	道路休憩		来訪者用駐車場 駐輪場 電気自動車用急速充電器 トイレ ベビーコーナー	小型車259台以上 事業者提案 2台以上 事業者提案 10㎡以上	
	道路情報発信		道路情報発信	事業者提案	
	防災		備蓄倉庫 ヘリポート	10㎡以上 1箇所	
川の駅	親水	浮棧橋 水辺学習・体験施設 洗い場	小型船1隻係留 事業者提案 事業者提案		

### 「大川の駅」に関するQ&A

Q

「大川の駅」の整備には、公募分と公募外分を合わせていくらかかるの？

A

公募分の施設整備に要する費用としては**最大41億8,500万円**を要します。公募外分としては、まず一次造成（盛土、地盤対策工事など）に要する費用など**約6億850万円**に加え、展望デッキの建設に要する費用（参考：令和5年7月に公表した実施計画時には**約8億3,000万円**と試算）が見込まれます。

公募外分としては、2期事業となる広域的地域振興拠点機能施設（敷地面積1,600㎡）の整備に要する費用が必要です。こちらについては、施設の具体的な内容や運営体制についての検討を行っている段階ですので、現時点で整備費用は確定していません。

以上を合計すると**計56億2,350万円+2期事業費用**となります。

Q

「大川の駅」の南側の民間事業誘致には、いくらかかるの？

A

**用地取得費と一次造成費**が必要となります。建物の建築は、誘致する民間事業者の完全負担となります。用地取得費と一次造成費の概算としては、道の駅整備予定地の取得面積と概ね同じ程度であることを踏まえ、あわせて**約7億1,000万円**と想定しています。

用地取得の時期は、**進出する企業が内定**した後となりますので、支出時期はまだとはなりません。しかし、「大川の駅」と**相乗効果**を生む民間事業者の誘致活動に引き続き努めていきます。